

2018年7月27日

三田市長 森 哲男様

新日本婦人の会三田支部

三田市ゆりのき台3-

学校施設への空調（冷房）設置の早期実現を求める要望書

私たち国連NGO新日本婦人の会は、1962年の創立から、子どものしあわせのため、教育環境改善などに地域で草の根からとりくんできました。

今年の7月は、全国で連日35度を超える地域が相次ぎ、熱中症で体調を崩す子どもが後を絶たないなか、命を落とす事故までおきています。

先日、愛知県豊田市の小学校で1年生の児童が熱中症のため死亡する大変痛ましい事故が起きてしまいました。この学校の教室にはエアコンはなく、4台の扇風機しか設置されていなかったそうです。18日に、前倒しで空調の設置が決まったとのことですが、対応が遅すぎます。

屋外から教室に戻ってきても30度超えという環境は問題で、勉強に集中するだけでなく、体を休める場所として教室のエアコンは不可欠で、今や最低限の環境設備と考えてほしいと、名古屋大大学院の内田良准教授は話されています。

県下でも近隣の神戸市、西宮市、宝塚市、川西市を含む14市で全普通教室にエアコンが設置されています。三田市の全小学校にも早急にエアコンの設置をしてください。

また、西日本に甚大な被害を及ぼした先日の豪雨では2万人を超える大勢の方が避難し、今でも4000人を超える人々が避難生活を強いられています。学校施設に避難所としての役割が今ほど強く求められる事はありません。しかし、避難所にはクーラーの付いていない所も多く、豪雨以降の災害とも言われる猛暑による、被災者の体調管理が心配されています。子どもの命と健康を守ること、避難所の劣悪な環境を改善するためにも、学校施設（教室、体育館）への空調（冷房）設置が急がれます。

併せて国に対しても空調（冷房）設置のための自治体支援をするように求めてください。

1. 学校施設（教室、体育館）への空調（冷房）設置を急ぎ実現するため、国の補助金を大幅に増額することを国へ要請してください。
2. 学校施設（教室、体育館）への空調（冷房）設置を急ぎ実現してください。